

## 元市議・寺山光一郎の生き様

旭日雙光章授与をきっかけに記念本を制作！

旭日雙光章授与を機会に、ご自身の生き方、物事への処し方、大切にしてきたことなどをまとめた一冊。1章「生き抜く力」は子供時代の出来事、2章「夢中になる力」は青春時代と稼業のこと、奥様との出会い、そしてメインの3章は市議会議員になるきっかけや活動など。ちなみに掲載写真は、旭日雙光章関連や市議活動に加え、若き日の奥様との素敵なツーショットです。



著者：寺山光一郎  
書名：『弱虫の勇氣』

○仕様  
サイズ：A4変型判  
(210mm×210mm)  
56ページ  
印刷：デジタル印刷  
製本：ソフトカバー  
小口折製本  
発行：2020年3月22日

●プロフィール  
寺山光一郎  
平成3年から5期20年の長きにわたり市議会で活躍。令和元年に旭日雙光章を授与される。

### ことごとメモ

短期間で一気にとまとめた自分史。熱量の高さは市議時代と変わらない“寺山光一郎”がぎゅっと詰まった一冊です。



お世話になった全ての方に感謝を込めて！

## いわく、「これぞ本物の旅のガイドブック」

「こんな自由な旅をしたい」

現役時代、そして定年後に、夫婦二人でヨーロッパを巡った時の思い出を綴った旅行エッセイ。すべてご自身で計画した旅、それは自由であることのおかげがえのなさだということが伝わります。その自由な旅では、行動範囲が格段に広がるレンタカーの利用が重要な鍵を握ります。地図とカーナビを頼りに奮闘する様子や、不自由な言葉のやり取りの面白さ、生涯の思い出となる感動の出会いも述べられます。著者いわく「これぞ本物の旅のガイドブック」。



著者：青戸三千彦  
書名：『二人で車 ヨーロッパ』

○仕様  
サイズ：A5判 128ページ  
印刷：オフセット印刷  
製本：ソフトカバー  
小口折製本  
発行：2018年7月7日  
価格：1,600円+税

●プロフィール  
青戸三千彦  
1943年生まれ。新聞記者時代は社会部、編集委員など。定年退職後、趣味の穂高岳散策や旅行を楽しむ。

### ことごとメモ

元新聞記者の著者による文章は、平明でぐいぐいと読者を引き込みます。



## 6つの「お約束」

### 6 Promises

ことごと舎の本づくり。お客様への6つのお約束です。

- 「生きている証を残したい。でも自分で書くには難しい」。そんなお客様にはプロのライターが聞き書きをいたします。
- 「こんなスタイルにしたい」「あんな雰囲気で見たい」。ご希望に沿って編集者やデザイナー、印刷・製本の職人たちが力を合わせ、より良いカタチをつくりまします。
- ことごと舎では、ご自身が表現したものすべてを「自分史」と考えています。旅行記や写真集、句集など「あなただけの本」をつくりまします。
- 丁寧で良質な本づくりのために、膝をつき合わせた打ち合わせをいたします。
- ご来社が難しいお客様のもとにも喜んでお伺いいたします。
- ことごと舎の母体は、約60年続く印刷会社です。組版・デザインから印刷・製本まで、一貫生産体制による質の高い本づくりをいたします。



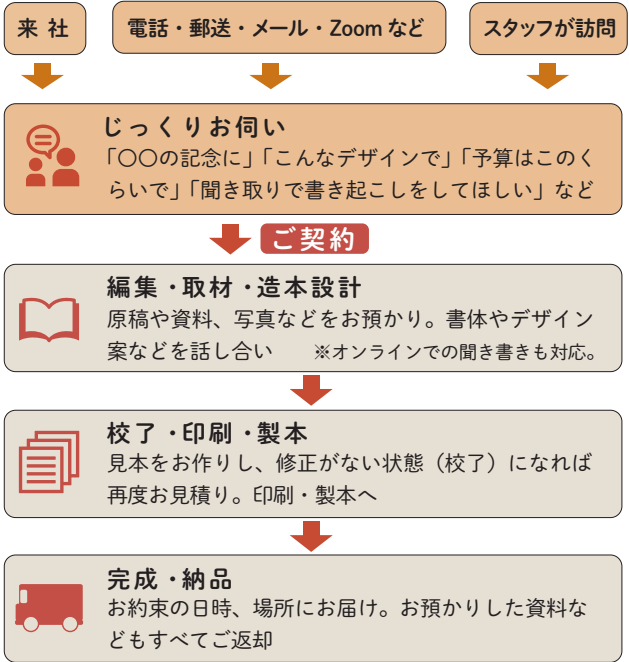
## 離れていても、丁寧な本づくりをいたします。

新型コロナウイルスに翻弄される日々ですが、そんな中でも、「本づくりをしたい」「思いをカタチに残したい」というお客様からのお問い合わせが増えています。「でも、まだ対面は不安で」とご心配の方には、電話や郵送、メールのほか、オンライン通話のZoom（ズーム）などもご利用いただいています。まだまだ判断の許さない状況ですが、ことごと舎では離れていても丁寧な本づくりをいたします。どうぞ、お気軽にご相談ください。

## 「形に残したい」と思ったら……

お問い合わせ フリーダイヤル 0800-800-7651  
TEL 0422-60-1555 FAX 0422-60-2200  
hon@kotokotosya.jp

## ご相談方法（離れていてもお打ち合わせいたします）



## 価格の参考例

お客さまのご要望によって費用は様々です。下記は自分史を例にした参考価格です。

## 「自分史」の場合の標準価格

[仕様] 四六判(天地188×左右128mm)、ソフトカバー、無線綴じ製本、見返し、本文・表紙1色印刷、カバー4色印刷

原稿がある本をつくる場合		聞き書きで本をつくる場合	
お客さまご自身が書いた原稿をプロの編集者が確認・アドバイスし、お客さまと一緒に本づくりをします。		プロのライターが聞き取りして、原稿をつくり、お客さまに確認をしていただきながら本づくりをします。	
例	160頁前後	例	80頁前後
	50部 50万円～ 200部 60万円～		50部 70万円～ 200部 80万円～

## 編集後記 小さな『ことごと舎便り』

◆「新しい生活様式」としてオンライン会議が増えています。“ことごと舎”でも選択肢の一つとして取り入れることにいたしました。リアルな対面のほうが落ち着きますが、画面でもFACE TO FACEでお話できることが大事なことも。(稲)

◆緊急事態措置期間中は、お客様とお会いすることを控えてきました。以前からZoomなどは利用していましたが、一度は直接お目にかかり「膝をつき合わせて」お話を伺うということは続けていきたいと思っています。(宮)

◆「巣ごもり」の間、家の中のあれこれが気になって片づけていたら古い手帳が出てきました。思わず手も時間も止まって懐かしい気持ちに……。昔を思い出すことは自分史づくりの始まりなのかもしれないですね。(竹)

◆昨年10月からご縁があり編集部に入りました新人です。本づくりの工程は、どきどきわくわくの連続。覚えることがいっぱいの日々ですが、お客様のお手伝いをしっかりしたいです。(船)

“生きている証を残したい”  
お客様の気持ちを大切に、  
自分史、旅行記、写真集、画集、句集……  
丁寧な本づくりで応えます

# 4

自費出版専門工房

ことごと舎  
From kotokotosya  
Vol.4  
便り

離れていても  
丁寧な本づくりを  
いたします。



江戸時代から令和、そして未来へつながるファミリー・ヒストリー、「写真と編みぐるみ」でこの魅力を紹介する写真集、旭日雙光章授与をきっかけに感謝の気持ちをまとめた自分史、定年退職後、夫婦で旅した思い出を綴ったエッセイ集など、いずれも親しい友人の語りを聞いているような味わいがあります。